

## 16 画像で見る仏教と他の世界の宗教とのちがい

(4コマ)

よしだ ひろあき  
吉田宏哲

大正大学名誉教授  
博士(文学)  
真言宗智山派宥勝寺住職



人のため、世のために役立つことをなすことは人間としての最高の行為であるが、それでは人のため、世のために役立つ最高の行為とは何であろうか。

それは人々の苦悩を完全に消滅する方法を見出し、さらにその方法を用いて人々の苦悩の消滅のために自己の人生を捧げる行為ではないだろうか。ここで完全にと言ったのは、個々人の個別的、直接的、感覚的な(身心の)苦悩や、特殊な(戦争・天災・会社の倒産等による)苦悩だけではなく、物事が変化していくことによって起こる苦悩と、生老病死等の苦(思い通りにならないという意味)という一切に遍満している悲苦も含めてという意味である。この最後の普遍的・根源的な苦を消滅し、その消滅の方法(四諦)を説き、さらに人々におけるその実現を目指したのが仏教の開祖・釈尊である。これによって仏教教団が成立し、その間、苦の消滅(完全な苦の消滅であるから大安楽と云い、思い通りにならないことを超越したから大自在と云う)に関する方法を巡って様々な教義の提示と実践が行われた。声聞乗、縁覚乗、大乘の中観・唯識・如来蔵思想、密教の系列はその思想的展開であり、インド、東南アジア、中国、韓国、日本、チベット地方への伝搬はその地域的な展開である。しかるに釈尊の成仏による解脱涅槃の原事実は実現不可能事とされ、あるいは不可言説とされて、特にわが国では四諦説は小乗仏教の教えとされて、仏教におけるその根源的な意味が真剣に問われなかった。(もう一つ、四諦説が日本人に受けなかった理由は、生老病死は思い通りにならないという意味であると教えられれば直ぐに誰にでも理解できるのに、「苦」と漢訳されたために仏教はベシミズムやニヒリズムであると敬遠された節がある)。

今日、世界に広まる宗教は、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教など多様であるが、上述のような仏教の立場とはずいぶん違っているように見える。そこで今回の講義ではこれら諸宗教と仏教との違い、及び日本仏教の宗派の違いを画像を用いてやさしく解説したい。

[日時] 6月5日(月) 13:30~15:00, 15:20~16:50, 6月6日(火) 10:30~12:00, 13:30~15:00

[テキスト] レジユメ配布

[参考書] 中村元『比較思想の軌跡』東京書籍

[受講料] 4,800円